

【会議記録】

第2回一宮市部活動地域移行検討協議会

日 時	2025年10月31日(金) 14時30分～16時00分
場 所	オリナス一宮 3階大会議室
出席者	委員11名(鈴木、長谷川、鬼頭、原、五藤、伊藤(之)、芳賀、花村、江藤、内藤、森)

1 開会のことば

2 一宮市教育委員会あいさつ(教育長)

3 報告事項

- (1) 2025(令和7)年度 後期休日地域クラブ活動・実施状況について
 (2) 2025(令和7)年度 前期休日地域クラブ活動・振り返りアンケート結果について
 (3) 2025(令和7)年度 児童生徒アンケートについて

○ 事務局から以下のように提案があった。

- 活動種目は前期より増え、16種目、指導者は約230名、活動場所は58か所、参加者は1・2年生の2学年で1,600名を超えた。企業と連携し、実証事業の一環として、3名の方を紹介いただき、指導者に加わっていただけるように調整を進めている。
- 活動・指導の満足度の項目で、共に肯定的な割合が上昇した。また、市で立ち上げる「地域クラブ」の他に、学校が地域と連携して立ち上げる「学校独自クラブ」も広がっている。生徒活動拠点の分散が図られるので、肯定的に捉えている。
- 11月に小学5・6年生、中学1年生を対象に、休日地域クラブへの参加希望についてアンケート調査を行う。

4 議事

- (1) 2026(令和8)年度以降の地域クラブの大会参加について

○ 事務局から以下のように提案があった。

- 2026(令和8)年秋以降、「地域クラブからの大会参加」が基本となる。地域クラブの実施団体には「成果発表の場」を設けていただけるよう働きかけている。大会出場に関しては、「出場規定」「申込方法」「大会運営や審判」の課題がある。
- 中小体が主催する市の総合体育大会は、2027(令和9)年度以降も県大会の開催が決まっているため、一宮市も上位大会出場チームを決める大会を行っていく。出場チーム数の減少に伴い、大会日程・試合数を減らしての開催になると見込まれる。大会の参加クラブをどこまで認めていくべきか、また、今後の大会運営(役員・審判等)をどのようにしていくとよいか、検討を重ねている。
- 目標があつた方がよいので、成果発表の場があることが望ましい。会場の確保や、大会の適切な規模について考えていかなくてはならない。
- 大会役員や審判について、競技ごとに現状が異なる。各競技団体、連盟や協会で相談し、子どもたちの成果発表の場を確保していくことができるようにしていく。
- 学校からの出場がなくなる2027(令和9)年度以降の中小体主催の大会でも、一宮市の代表を選出していくことになる。先生方には小学校も含めて、役員として大会運営や審判等、一宮市の子どもたちのために引き続き協力をお願いしていく必要がある。

- (2) 改革実行期間におけるロードマップについて

○ 事務局から以下のように提案があった。

- 「平日の地域展開」に関して、各学校で活動時間帯や活動方法のさまざまなアイデアが出始めている。また、「地域クラブの認定」については、国の会議で示された認定制度の方針を基に、一宮市で実施団体に示してきたガイドラインの内容を修正していく形で進めていく予定である。「事務局体制・業務の仕分け」に向けて、地域クラブポータル(専用サイト)を新設し、参加者の「検索・参加申込」と実施団体による「加入承認」や事務局による「情報発信」をサイト内で一括して行える仕組みを整えたい。困難家庭や団体への「経済的支援」についても、「家庭からの申請」による地域クラブ活動費の支援を考えたい。
- 平日部活動については学校の日課を変更するなどの工夫をして実施し、すぐになくなるということではない。
- 参加する子どもたちが主体的に地域クラブについて調べ、参加を決めていくことが大切。専用サイトの仕組みが整うことはそれにつながるため、ぜひ導入していただきたい。
- 保護者も毎回のチラシを確認していないこともある。専用のサイトでクラブの紹介など常時見られるとよい。

5 一宮市教育委員会あいさつ(教育長)

6 閉会のことば